

2022年8月28日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第65巻第20号(通算3302号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

# 週報

教会標語

かみさま ひととも  
神様がすべての人と共におられる  
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ 5:5)

## せいれいこうりんせつ だい しゅじつれいはい 聖霊降臨節 第13主日礼拝

れいはい  
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そ う もくとう ちょさくけんしやうめつ  
前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しよ しょう せつ  
招きの詞 ミカ書 6章 8節

さん び か ばん しょう せつ  
賛美歌 21-522番「キリストにはかえられません」(©JASRAC)

せい し しょ ふくいんしよ しょう せつ  
聖書 マルコによる福音書 10章 46-52節

いの お 祈り  
さん び か ばん うで  
賛美歌 21-413番「キリストの腕は」(©JASRAC)

メッセージ 「あなたは何をしてほしいのか」 牛田 匡 牧師

さん び か ち へいわ しょう  
賛美歌 「地には平和」(2唱)(©JASRAC)

しゅ いの ばん てん わたし ちち きやうだんさんびかかいていいんかい  
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

たんじやうしゃしゅくふくしき うしだ ただし ぼくし  
誕生者祝福式(\*) 牛田 匡 牧師

さきげもの  
献げ物(\*\*)

は け ん ばん かみ めぐ う せつ  
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅく ぶく うしだ ただし ぼくし  
祝福 牛田 匡 牧師

こう そう ばん ちょさくけんしやうめつ  
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©著作権消滅)

ほう こ べいじ さんしやう  
報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* みんなで8月生まれの方(と今年度8月までにお生まれの方)を祝福いたします。ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

\*\* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた さき  
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 ミカ書 6章 8節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

人よ、何が善であるのか。

そして、主は何をあなたに求めておられるか。

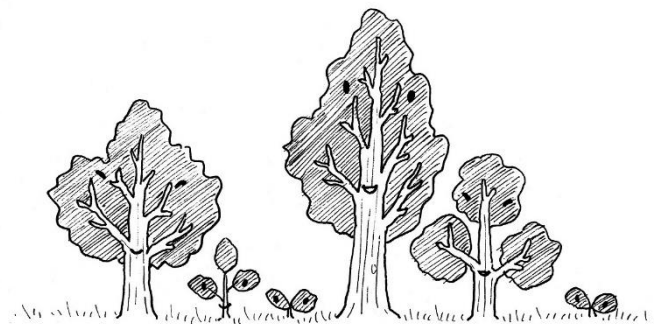
それは公正を行い、<sup>いつく</sup>慈しみを愛し

へりくだって、あなたの神と共に歩むことである。

聖書 マルコによる福音書 10章 46-52節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>46</sup> 一行はエリコに来た。イエスが弟子たちや大勢の群衆と一緒に、エリコを出られると、ティマイの子で、バルティマイという盲人が道端に座って物乞いものごをしていた。<sup>47</sup> ナザレのイエスだと聞くと、「ダビデの子イエスよ、私を憐れあわんでください」と叫び始めた。<sup>48</sup> 多くの人々が叱りつけて黙らせようとしたが、彼はますます、「ダビデの子よ、私を憐れんでください」と叫び続けた。<sup>49</sup> イエスは立ち止まって、「あの人を呼んで来なさい」と言われた。人々は盲人を呼んで言った。「<sup>a</sup>安心しなさい。立ちなさい。お呼びだ。」<sup>50</sup> 盲人は上着を脱ぎ捨て、躍りおど上がってイエスのところに来た。<sup>51</sup> イエスは、「何をしてほしいのか」と言われた。盲人は、「先生、また見えるようになることです」と言った。<sup>52</sup> イエスは言われた。「行きなさい。あなたの信仰があなたを救った。」盲人はすぐ見えるようになり、なお道を進まれるイエスに従った。

(脚注 a : 直訳「勇気を出しなさい」)



## 《先週のメッセージより》2022年8月21日メッセージ

「あなたが触れてくれたから」より

岡嶋千宙伝道師

聖書 エレミヤ書 1章4-10節

生まれる前、母の胎内にいる時から預言者となることが決められている、と神から聞かされたエレミヤは、躊躇の言葉を発しました。「まだ若いから」。できることなら断りたい。ただ単に若いからというだけではなかったことでしょう。エレミヤ書冒頭に記されたプロフィールによると、彼は祭司の家系の人物です。エレミヤ自身、家業を継ぐ覚悟はあったのですが、祭司は預言者ではありません。おそらく、このとき初めて「あなたは預言者として立たされる」と聞き、驚いて当然です。全くの想定外。「若いから」というのは、躊躇ではなく、断固拒否という強い否定の思いの発露だったのかもしれませんが。

それほどまでに、拒否感を示していたエレミヤでしたが、最終的には神の召しを受け入れました。そして、その後、彼は最後まで預言者として歩み続け、その歩みの足跡が聖書の一部として残されたのです。明確な理由は記されていませんが、エレミヤが神の召しの言葉を受け入れたきっかけの一つは、神がその手で「触れた」からです(9節)。エレミヤの召命の場面において備えられたのは、単純な神の言葉ではありませんでした。言葉だけではなく、神の存在自体が与えられたのです。エレミヤは、自分の身体を通して、身体感覚を伴って、確かに、神の存在を感じた。神が触れたという確かな感覚、自分の皮膚を通して柔らかく暖かく染み渡る感覚があった。

エレミヤの時代から約600年後、「神の子」として、神の言葉を人々に伝えた人イエス。彼は、自らが、神の言葉でありながら、人と同じ肉を持ち、その肉を通して、人々との身体的交わりの中に生きて人でした。自分の身体を他の人々のもとに近づけ、そして、自分の手で、人々に触れる人でした。イエスが病人に触れると病が癒され、苦しみの中にある人がイエスに触れると穏やかにされ、あるいは幼子がイエスに触れられると祝福を受けたのです。

信仰は単なる言葉ではありません。イエスを、神を信じるということ。それは、わたしたちの日常の1コマ1コマで、わたしたち自身の身体／肉体を通して培われる生き様の上にこそ、成り立つものです。だから、教会、社会、地域、家庭、それぞれの交わりの中で、今一度、触れあうことを忘れないようにしたい。お互いの身体を向き合わせ、目の前にいるあの人の息を感じ、声を聞いて、命の温度を互いに感じあう、そういう時間と場所を大切にしていきたいと願います。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 8月21日

主日礼拝出席 大人4名 中継動画再生数 10回  
 献金 大人4,000円 感謝  
 (「聖書を読む会」は行いませんでした)

◎次週 2022年9月4日(日) 聖霊降臨節第14主日礼拝

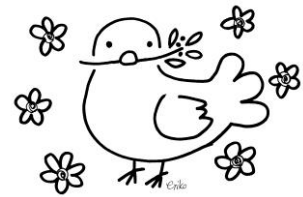
招きの詞 イザヤ書 42章 2-4a節

聖書 マルコによる福音書 12章 1-12節

メッセージ「くすぶる灯心の火を消さず」牛田匡牧師

賛美歌 新生363番(©バプ連)、21-373番(©JASRAC)、21-543(©讚美歌委)

礼拝はインターネットで中継配信いたします。8・9月期の「教会を考える会」は翌週9月11日に延期いたします。



◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」をして、いこい食堂にお届けします。どうぞご参加ください。お二人の方よりお米を献品頂きました。感謝。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染爆発「第7波」が続いています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・9月2日(金)から9月8日(木)にかけて、大阪・シネアート心斎橋にて、「第15回・関西クィア映画祭2022」が開催されます(京都会場は9/23-25)。性のあり方の多様性をテーマにした映像作品を上映する映画祭です。詳細は、同映画祭のウェブサイト(<https://kansai-qff.org/2022/>)をご参照ください。
- ・9月から10月にかけて、オンラインで「第2期・エキュメニカル講座(全5回)」が開催されます。参加費は無料です。事前に申し込むことで、ZOOMで講座を受講することができます。第1回は9月12日(月)17:15~18:45に「日本キリスト教協議会(NCCJ)の歩み」で、元NCC総幹事・元関西学院大学教授の山本俊正さんによるお話です。ご参加希望の方は、9月9日(金)までに、[ecumenicalnetwork@gmail.com](mailto:ecumenicalnetwork@gmail.com) までメールでお申し込みください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
9/4	牛田牧師	ユーカリスト
9/11	水谷牧師	教会を考える会?
9/18	岡嶋伝道師	敬老の日礼拝・聖書を読む会? (14時から、河内地区壮年会@小阪教会?)
9/25	牛田牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援

**エキュメニカル・ネットワーク (E-net) 主催**

**第2期**  
**エキュメニカル講座**  
**〈全5回〉**

[期間] 2022年9月~10月  
 [対象] E-net会員、関心をお持ちの方  
 [開催方法] Zoomによるオンライン  
 [参加費] 無料(各回定員50名)

**参加費無料**  
〈要申込〉

**第1回 9月12日(月) 17:15~18:45 (申込み締め切り 9月9日)**  
**日本キリスト教協議会(NCCJ)の歩み**  
 担当: 山本 俊正(元NCC総幹事、元関西学院大学教授)

**第2回 9月26日(月) 17:15~18:45 (申込み締め切り 9月23日)**  
**NCCの宣教 Iーその構成とエキュメニズムの理念**  
 担当: 金 性清(NCC総幹事)

**第3回 10月3日(月) 17:15~18:45 (申込み締め切り 9月30日)**  
**NCCの宣教 IIー激動の東北アジアと日本において**  
 担当: 金 性清(NCC総幹事)

**第4回 10月17日(月) 17:15~18:45 (申込み締め切り 10月14日)**  
**NCC教育部に求められている働きとは?**  
**~戦前・戦中・戦後の歩みを通して~**  
 担当: 比企 敦子(NCC教育部総主事)

**第5回 10月31日(月) 17:15~18:45 (申込み締め切り 10月28日)**  
**平和と核の問題についてのエキュメニズム一考**  
 担当: 内藤 新吾(NCC平和・核問題委員会委員長、日本福音ルーテル教会徳台教会牧師)

\*お申込\*

エキュメニカル・ネットワーク (E-net)  
 MAIL: [ecumenicalnetwork@gmail.com](mailto:ecumenicalnetwork@gmail.com)